



消火器の使用方法の説明要領

<p>消火器の 適応</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一般的に普及している消火器は、A B C 粉末消火器 10 型です。 ・消火器には絵表示（右図）があり、これにより適応する火災が分かるようになっています。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 白色は普通火災（紙や木材が燃えている火災）に有効 2. 黄色は油火災（ガソリンや天ぷら油などが燃えている火災）に有効 3. 青色は電気火災（電気配線等が燃えている火災）に有効 <div style="text-align: right; margin-top: 10px;"> <p>旧規格は文字だけの表記</p>  <p>新規格は絵が加えられている</p>  </div> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">A B C 粉末消火器はすべての場合に有効ということです。</p>
<p>使用方法</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. まず、「火事だ！」と叫んで周りの人に火災であることを伝えます。 2. 消火器を持って出火箇所の 3～5 m 手前の位置（消火位置）にいきます。 <ol style="list-style-type: none"> ①ピン（上部の黄色いリング）を引き抜く ②ノズルを燃えている物に向ける ③レバーを握る
<p>注意点</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 噴射できる時間は約 15 秒です。消火器のタイプによっては、一度噴射すると、レバーを離しても噴射を止めることはできません。 2. 天井まで炎が達しているような場合は、消火器による消火は難しいです。 3. 消火位置に到着するまではピンを抜かないで下さい。 4. 消火器を持って移動するときは、レバーの下側を持って下さい。 5. 屋外の場合は風上から風下に向かって使用して下さい。 6. 油火災の場合は、近い距離から直接油に向かって噴射すると飛び散る可能性があるため、少し離れた位置から噴射して下さい。 7. 炎ではなく燃えている物自体に向かって噴射し、ほうきで掃くようにノズルを動かしながらだんだん近づいていくようにして下さい。 8. 消火した後は粉末で視界が悪くなります。使用後に容易に避難できる位置から噴射して下さい。 9. 消火器によりいったん火が消えても、熱が残っていると再燃することがあるので、注意して下さい。 10. 本体の底が劣化していると、使用時に高圧によって本体が破裂し怪我をすることがあるので、湿気の多い場所や屋外に置いている消火器の維持管理は、特に注意して下さい。 11. 消火器の交換期限は業務用消火器で 10 年、住宅用消火器で 5 年です。本体に記載されている交換期限を目安に買い替えてください。